

令和4年第1回相馬市総合教育会議議事録

1 開催日時

令和4年11月7日（月）

開会 午前10時30分

閉会 午前11時30分

2 開催場所

相馬市役所 3階 正庁

3 出席した構成員

相馬市長	立谷秀清
教育長	福地憲司
職務代理者	宗形明子
教育委員	関根進
教育委員	菅野明彦

4 欠席した構成員

教育委員	森陽子
------	-----

5 事務局関係

（相馬市）

企画政策部長	佐藤芳男
企画政策課長	奈良信寛
企画政策課長補佐	鈴木洋平
企画政策係長	森洋人

（相馬市教育委員会）

教育部長	横山英彦
生涯学習部長	赤石澤珍夫
総務課長	只野聡一
学校教育課長	目黒信浩

6 傍聴人

なし

7 協議事項

（1）重点的に講ずべき施策について

- ① RSTの取組について
- ② 家庭学習の充実等について

（2）報告事項

- ① 校務支援システムの導入について
- ② 未来への「志」づくり事業について
- ③ 社会教育の充実について
- ④ 「東日本大震災からの相馬市の復興」を学ぶ機会の取組について

(3) その他

① 相馬市教育振興基本計画の進捗状況について

8 議事の経過

1 開 会（企画政策課長）

2 市長あいさつ

3 協 議

(1) 重点的に講ずべき施策について

① R S Tの取組について

●協議結果

R S T事業は学力向上のための主要な施策と位置づけ今後も継続していく。
R S Tの結果については、教員の主体的な取組を通じて授業改善と学力向上に結びつけるよう進めて行く。

●協議内容

横山英彦教育部長 （別紙資料により説明）

宗形明子委員 R S Tの結果の解析により、どういうところが弱いのが分かるという点では、この分析はとても良い物だと思う。正答率が低かった資料の例では、「割合」という言葉に対する認識が薄かったのではないかと思う。

立谷秀清市長 R S Tの分析内容については非常に多岐にわたるので、その細かい内容についてここで議論すべきものではないと思うが、分析結果を踏まえ、しっかり対応していくということ。

菅野明彦委員 常識的に考えて、おかしいと思うような答えになってしまうことがあるように見受けられる。何か結びついていないところがあるのではないかと思う。

立谷秀清市長 どういう風に分析するか、分析してどういう方向に持って行くかが大事。分析は、教員が自分たちで脳みそに汗をかいてしっかりやることが大切だと強く思っている。

関根進委員 R S Tの取組により読解力向上の成果は出つつあるかと思う。まだ学力向上という本当の意味での成果につながっていないところはあるかもしれないが、地道につづけて改善しながら実施していくことが大切だと思う。

立谷秀清市長 分析の結果を待っているだけではいけない。R S Tの何が素晴らしいかを教員たち自らが理解しないといけない。どうしたら足りないところが改善できるか、自分たちで考える指標を取るための手段として、R S Tと言うものは誠にいい物だと思っている。

②家庭学習の充実等について

●協議結果

事務局案のとおり、組織として家庭学習の充実に向けた取組を進める。実施に当たっては取組内容を継続的に改善しながら進める。

●協議内容

横山英彦教育部長 （別紙資料により説明）

立谷秀清市長 家庭学習の時間が足りないというのは、子どもたちの動機

問題だと思っている。社会の厳しさを見せて、勉強してある程度のスキルを持たないとやっていけない世の中であることを知ってもらうために、キャリア教育をやっている。しかし、進路希望などを見ている限り、それが響かない子どもたちも多く見られる。将来を見据えて勉強する子がどのくらいいるのか。それより、生活習慣としての勉強ということが大切。

関根進委員 家庭への働きかけが大切だと思うが、今までと同じでは変わらないので、例えば授業参観の通知にしても、授業内容がこれだけ変わっているということも含めて通知をしてそれに食いついてくるか、という風には思うが、勉強させていない親にはそもそも響かないかもしれない。

横山英彦教育部長 家庭学習については、これまで担任任せという面があったが、今後は組織として対応していく方針で考えている。

宗形明子委員 親がいくら勉強しなさいと言っても、本人にやる気が無ければ机に向かっても意味が無い。環境作りは、家庭だけではなく、社会がそういう環境を作っていくことが大事だと思う。自分が将来どういう風になりたいか、イメージを持たせるためのキャリア教育もその一つだと思う。子どもたちに刺激を与える、いろいろな物を見せることが大切だと思う。

立谷秀清市長 先生への働きかけや、親に頑張ってもらうしかないかもしれない。なかなか答えの出ない問題だが、さらに良い知恵があれば持ってきて下さい。

(2) 報告事項

①校務支援システムの導入について

●報告内容

横山英彦教育部長 (別紙資料により説明)

立谷秀清市長 これに関しては、この場で個々の製品の評価ができるものではないので、教育長に任せてもらいたいと思っている。教員が使いやすい方向に持っていければ良いのであって、現場の皆さんの選択に任せるということで進めて行きたいと思う。

②未来への「志」づくり事業について

●報告内容

赤石澤珍夫生涯学習部長 (別紙資料により説明)

立谷秀清市長 講演者がどれだけ良い話をして、子どもたちが聞かないのでは意味が無い。そういう意味では、子どもたちが関心を持って聞いた様子がアンケート結果から見たので、良い結果であったと言える。この次も同様の趣旨で、子どもたちがこの人の話であれば聞きたいという点を主眼に進めて行きたい。

③社会教育の充実について

●報告内容

赤石澤珍夫生涯学習部長 (別紙資料により説明)

立谷秀清市長 これは引き続きやっていくということで良いですね。

④「東日本大震災からの相馬市の復興」を学ぶ機会の取組について

●報告内容

鈴木洋平企画政策課長補佐 （別紙資料により説明）

立谷秀清市長 震災復興については、私の講演用に5～6時間分の膨大な資料を持っており、職員や学校の先生が、私の資料を使って説明できるようになれば良いと思っている。内容については、例えば国が年間20mSvで避難指示を出した。本来100mSvの基準だが、安全を重視した結果そのような判断をした。実際には相馬ではそれよりはるかに少ない量しか被ばくしていない。このようなことを教えるのが大切だと思う。

(3) その他

①相馬市教育振興基本計画の進捗状況について

●報告内容

横山英彦教育部長 相馬市教育振興基本計画の計画年度が今年度で最終年度となっております。来年度以降の計画を現在策定中であり、次回の会議で提案する予定とします。

立谷秀清市長 よろしいですか。（異議なし）

== 協議後に、福地教育長から総括意見 ==

協議事項その1「RSTの取組」については、何が一番大事なのかという点、読解力は上がったのだけれど、目に見える学力が上がってきていないのが問題で、この分析が一番大事だと思う。協議事項その2「家庭学習の充実等」については、家庭学習の質・時間を学校としてどう高めていくか、市長の言うとおりに、どんな動機付けをするのが大切であって、子どもをどうやって刺激するのか。具体的には、アンケートや親との面談も一つの手段だと考える。そのあたりについては今後校長会議等で協議しながら進めて行きたい。報告事項その1「校務支援システム」については、すべての先生が使えるということが一番大事だと思う。これに関しては研修をしっかりとやっていく。報告事項その2「未来への『志』づくり事業」については、子どもたちが聞く気になる講師の人選をすることがポイントだと思う。相馬の教育を考えたときに、小・中学校のみではなく、高校も巻き込んだ形で進めて行かないといけないとの思いから、敢えて高校生を対象としており、これは極めて大事な事業だと思っている。報告事項その3「社会教育の充実」については、人生100年の時代の中で、生涯学習として社会学習を進めて行くことは大事だと思っている。これについては、企画講座の充実を図っていく。バスで迎えに行ったりして、高齢者を巻き込んでいくというのが極めて大事だと思う。報告事項その4「『東日本大震災からの相馬市の復興』を学ぶ機会の取組」については、東日本大震災からの復興について、震災が風化しないように学ぶ機会を提供していくことは極めて大事だと思っている。ぜひ、引き続き続けていきたい。市長の意見にあるように、職員すべてが説明できることや、資料の精査についても今後検討していくと良いと思う。最後に「相馬市教育振興基本計画の進捗状況」については、次回の総合教育会議に向けて、良い物となるように、作成を進めて行きたいと考えている。